

# いちご一会 この瞬間

地域のさまざまな支えがあって国体開催に向けた土壌や機運が作られてきました。  
開催まで残り約1カ月、舞台は整いました。一期一会の瞬間が見られるのはもうすぐです。

## 地域の活動

各自治会で実施する花壇整備などの活動に、市実行委員会から花苗などの補助、国体PRミニ看板の配布、みるひいによる応援などを行い、国体開催機運の向上とおもてなしの心の醸成を目指しました。昨年7月に実施した「わくわくごみ拾い対決」では、300人を超える市民が参加し、ゲーム感覚で楽しみながら国体会場周辺のごみ拾い活動を行いました。



「わくわくごみ拾い対決」では、300人を超える市民が参加し、ゲーム感覚で楽しみながら国体会場周辺のごみ拾い活動を行いました。

## 子どもたち

会場では、応援のぼり旗や心のこもったメッセージを添えた花のプランターが選手たちを出迎えます。子どもたちが自ら調べて各都道府県の特徴を表現した、手作りのぼり旗がずらりと並ぶ様子は圧巻！プランターの花は、市内の小中学生が「花いっぱい運動」で育てたものです。会場を歩きながら、ゆっくりと見て回ってはいかがでしょうか。



会場を歩きながら、ゆっくりと見て回ってはいかがでしょうか。

## 弁当箱デザイン

市長賞受賞 副島 杏奈 さん

那須塩原の「食」の魅力を詰め込みました。食べるときに絵を見てほっこりしてもらい、皆さんの頑張る力になればうれしいです！



教育長賞受賞 石井 智幸 さん

市の歴史的な魅力、明治貴族の気品を感じてもらえるようデザインしました。本県の選手が活躍するよう、応援しています！



## 企業協賛

今国体は、多くの地元企業や団体の協賛によって形作られています。本当にありがとうございます。国体開催までの1カ月、手を取り合って盛り上げていきましょう！



## いちご一会ダンス

大会イメージソング「いちご一会」に合わせて制作された振り付けは、多くの人に参加できるよう「スタンダード編」のほか、子どもも簡単に覚えられる「イージー編」、高齢者も座ったまま楽しめる「シットイング編」の3バージョンがあります。また、県主催のいちご一会ダンスコンテストが行われ、三島中学校の「MISHIMAベリーダンスーズ(写真)」が最優秀賞を受賞！開会式でダンスを披露します！



また、県主催のいちご一会ダンスコンテストが行われ、三島中学校の「MISHIMAベリーダンスーズ(写真)」が最優秀賞を受賞！開会式でダンスを披露します！

## 環境への配慮

これまでの国体は、さまざまなインフラ投資を経て開催されてきましたが、これからはいかに環境負荷を下げ、持続可能な大会としていくかが重要なポイントです。市では環境負荷ゼロを目指し、「ゼロカーボン、プラごみゼロ国体」の開催を目指しています。それらの取り組みには、行政だけでなく、地域を挙げた理解と協力が必要不可欠です。



それらの取り組みには、行政だけでなく、地域を挙げた理解と協力が必要不可欠です。



市教育部 後藤 修 部長

国体での出会い・感動を次代へ  
今から42年前、私も選手として国体に出場しました。プレッシャーに押しつぶされそうになりながら競技に臨んだ記憶がありますが、大会を終えて感じたことは、国体は競技だけが主役じゃない、まさに地域を挙げて開催されるスポーツの祭典であるということなんです。  
競技を行う選手、それを応援する観客、大会を支えるボランティア、ポスターや旗を作ってくれた子どもたち、多くの協賛企業…。このように、さまざまな一期一会が積み重なって、今国体は開催されます。  
ここでしか出会えない感動や興奮にぜひ、会場で立ち会ってほしいと思います。応援したい選手と出会ったり、新しくスポーツを始めたいかなったり、環境問題を考える機会になるかもしれません。  
今国体の、一期一会から生まれた感動が、次の時代へ紡がれていくことを願っています。

# 想いを重ねて

全国から多くの来場者を迎える国体は、競技に参加する選手や応援する観客のみでは成立しません。選手が力を出し切れるように、本市の魅力を観客や選手に感じてもらえるように、「支える」活動を行うボランティアが必要不可欠です。重要な役割を担うボランティアとして参加する人の、国体への情熱を聞きました。



## ボランティア

稲村 有子 さん・桃子 さん (下永田)

稲村有子さん・桃子さん親子が国体のボランティアに申し込んだ理由の一つが、2020東京オリンピックです。「開会式をテレビで見ている、ボランティアの人たちがみんな生き生きと輝いて見えたんです」と、母・有子さんは言います。娘の桃子さんも同様にオリンピックのボランティアの姿が印象に残っていて、国体のボランティア募集が行われていると知り、有子さんを誘ったのが昨年の夏ごろのこと。さらに、42年前の「栃の葉国体」開会式で、当時高校生だった有子さんはダンスを披露した経験があり、その時の充実感や楽しかった思い出が、ボランティアでの参加を後押ししたそうなんです。

## まだまだ募集中！

### 国体運営ボランティア



10月に開催する「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の本市開催競技会で、運営・広報に携わるボランティアを募集しています。

42年ぶりの国体です。多くの皆さんの協力をお願いします。

- ▶対象 高校生以上の市民、市内通勤・通学者
- ※団体での申し込みもできます。
- ※応募時点で18歳未満の人は保護者の同意書が必要です。詳細はホームページを確認するか、お問い合わせください。
- ▶問い合わせ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 那須塩原市実行委員会事務局 ☎0287(38)0193

「3年ぶりの国体で、今まで一生懸命練習してきた選手たちが全力を出せる場づくりを手伝うことができたいです。全国から来る皆さんに、那須塩原の魅力を伝えられるよう頑張ります」と、稲村さん親子は晴れやかな笑顔を見せてくれました。

7月24日に行われたトライアスロンのリハーサル大会では、環境美化係として会場内のごみ拾いや回収に奔走したという稲村さん親子。「知らない人と話す機会があまりないので、ボランティアではその日初めて会った人と一緒に何かをやり遂げることが新鮮で、とても楽しいです。まさに『いちご一会』ですね」と、桃子さん。

## いちご一会の経験を今後の糧に

私はサッカーや陸上競技で大会に出ています。大会を支える立場でも学べることもあると思います。今回のボランティアに参加しました。トライアスロン競技を生で見るのは初めてで、本大会も楽しみにしています。この経験を、今後の実生活に生かしていきたいです。



高林中学校2年 阿部 進次郎 さん



高林中は、7月24日に開催されたトライアスロンリハ大会で給水所運営などに参加。大会本番も運営に協力予定